

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000101
事業所名	グループホーム あおぞら

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域のイベントである「盆踊り」や「お祭り」には利用者が積極的に参加しており、職員の付き添いで10数名の利用者がイベントを楽しむ。 近隣の保育園に出かけて子どもたちの元気な姿を見ていると、中から誘いの声がかかり、利用者も園庭に入って交流を深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	母体の特養施設と合同で運営推進会議を開催し、運営状況の報告の後、参加メンバーによる意見交換を行っている。 メンバーの自治会長がホーム運営に協力的で、様々な建設的な意見を提起し、地域の情報の提供もある。ホームと地域との良好な関係構築における功績は大きい。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	行政代表として、運営推進会議には地域包括支援センターの職員が参加している。 近い将来、市の介護保険事業が広域連合に移管されるとの情報があり、ホームとしても成り行きを注視している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族のホーム来訪が減少傾向にあるが、ホームからは「納涼祭」や「夏まつり」等のイベントへの参加を呼び掛け、家族の足をホームに向けさせようと取り組んでいる。 フランス料理の夕食会や特養施設との合同1泊旅行には、3組の家族の参加があった。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	○	○	○	○	○	◎			